

# 主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	産業建設部
	17003	亀山駅周辺整備事業	課名	都市整備課 亀山駅前整備G
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上	財	会計 01:一般会計
	基本施策	01:都市づくりの推進	務	款 08:土木費
	施策の方向	02:活力ある市街地の形成	科	項 04:都市計画費
戦略プロジェクト	03:「JR亀山駅周辺拠点方向上」プロジェクト	目	目 01:都市計画総務費	
事業予定期間	H 28 ~ H 33 年度	主な根拠法令要綱等 都市計画法、都市再開発法、都市再生特別措置法		

② 目的・概要	対象	市民
	目的	市の玄関口であるJR亀山駅周辺の再生を進めることで、駅周辺のにぎわいづくりと活性化、利便性及び安全性の向上を図る。
概要	JR亀山駅周辺のにぎわいづくりと活性化に向け、地域とともに駅周辺の再生に取り組む中、平成27年度に策定した亀山駅周辺市街地再開発推進計画に基づき、JR亀山駅周辺の整備を進める。	

③ 事業の計画・実績	年度計画	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○2ブロック市街地再開発事業(組合)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画作成、基本設計、地盤調査</li> </ul> </li> <li>○4ブロック道路整備事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地・補償</li> </ul> </li> <li>○4Aブロック優良建築物等整備事業(事業者)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画、建築設計等</li> </ul> </li> <li>○亀山駅周辺まち協支援業務委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2ブロック市街地再開発事業(組合)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・権利変換計画作成、建物・営業補償、建築設計</li> </ul> </li> <li>○駅前広場等整備事業(組合)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・詳細設計、用地・補償</li> </ul> </li> <li>○4ブロック道路整備事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事</li> </ul> </li> <li>○4Aブロック優良建築物等整備事業(事業者)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・整地・除却、補償等、建築工事</li> </ul> </li> <li>○都市計画道路事業[亀山駅前線]                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・詳細設計、用地・補償、工事</li> </ul> </li> <li>○亀山駅周辺まち協支援業務委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2ブロック市街地再開発事業(組合)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存建物除却、整地、施設建築工事</li> </ul> </li> <li>○駅前広場等整備事業(組合)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事</li> </ul> </li> <li>○都市計画道路事業[亀山駅前線]                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地・補償、工事</li> </ul> </li> <li>○亀山駅周辺まち協支援業務委託</li> </ul>	
年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2ブロック再開発事業の準備会設立、補助金の交付決定、準備会が基本設計等の業務発注</li> <li>○4ブロック道路(市道御幸8号線)の用地買収、補償交渉</li> <li>○優良建築物等整備事業の事業計画、建築設計等の補助金の交付決定</li> <li>○亀山駅周辺まち協支援業務委託の発注、各ブロック会議の開催</li> </ul>				
事業費	計画額	事業費	183,900千円	1,053,500千円	907,200千円
		国庫支出金	72,200千円	534,700千円	480,550千円
		県支出金			
		地方債	64,400千円	388,200千円	389,000千円
		その他			
事業費	予算額	事業費	187,216千円	970,000千円	
		国庫支出金	72,186千円	490,710千円	
		県支出金			
		地方債	62,600千円	378,200千円	
		その他			
事業費	決算額	事業費 ①	72,203千円		
		国庫支出金	22,792千円		
		県支出金			
		地方債	39,900千円		
		その他			
人件費	総人件費 ②	一般職員	7,679千円		
		所要人員	1.00		
		臨時職員等	0千円		
		総コスト(①+②)	79,882千円		
受益者負担率		0.0%			

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
④ 指標	①	名称 事業進捗状況 亀山駅周辺再生に向けた事業の進捗状況	計画値 都市計画決定 実績値 都市計画決定 単位	4ブロック優良建築物等整備事業完了 2ブロック施設建築物整備着手
	②	名称	計画値 実績値 単位	
	③	名称	計画値 実績値 単位	

⑤ 事業の改善	前回評価	<b>【前回評価の対応方針の概要を記入】</b> 各段階ごとに合意形成に向け広く情報の発信や共有を図る必要がある。市街地再開発事業に関する都市計画決定のための協議や諸手続きが遅れており、早期に進める必要がある。
	改善行動	<b>【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】</b> 事業内容や都市計画案に対する市民説明会を開催(7月~8月)した。また、市広報に政策特集として事業内容や進捗を掲載(3回)するとともに、行政情報番組(ZTV)で駅前特集を放映した。さらに、都市計画案に対する説明会や県等の関係機関協議を進め、都市計画審議会の答申を経て年度内に都市計画決定を行った。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	<b>【計画どおりに実施できたか】</b> 8月からの予算執行となったため、全体的な工程に遅れがみられ、準備会の業務発注が1月となった。都市計画決定が年内予定から3月末となったことから、それに伴い組合の設立準備等、全体行程が遅れることとなった。準備会の設立や補助金の交付決定、基本設計等に必要な準備会の業務発注、都市計画決定は年度内に完了した。 4ブロック道路(市道御幸8号線)の用地買収、補償は順調に進めることができた。優良建築物等整備事業の事業者による事業計画、建築設計等のための補助金の交付決定を行った。	<b>B</b>  まずまず実施できた
	成果	<b>【成果は順調に上がったか】</b> 市街地再開発事業や優良建築物等整備事業の補助金の交付決定等、駅周辺のにぎわいや活性化に向け進めることができた。	<b>B</b>  まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	<b>【課題は何か】</b> 準備会の発注業務が平成30年8月末へ延伸されたことから、市として必要な支援や協議を継続する必要がある。 早期に再開発組合が設立できるよう支援するとともに、4ブロック道路の工事のための調整や協議を進める必要がある。 1~4ブロック全体の再生に向けた計画を検討する必要がある。 引き続き広く情報の発信や共有を図る必要がある。	今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 <b>【その他の場合、その内容を記載】</b>
	対応	<b>【課題に対し、どのように対応するか】</b> 準備会と連絡調整を密にし、地域と行政がより一体となって具体的な再開発事業の検討や調整を進めるとともに、早期に組合設立ができるよう地域合意に向け、必要な情報提供や関係者と協議を行う。1~4ブロックの計画づくりのため、亀山駅周辺まちづくり協議会と連携を密にするとともに、具体的な活用について権利関係者等と協議検討を進める。市広報やホームページ等を活用し、当該事業の情報発信に努める。	
	効果	<b>【対応することで、どのような効果が期待できるか】</b> 第一種市街地再開発事業の円滑な推進を図ることができる。 駅周辺の再生や賑わい、安全面や利便性向上に取り組むことから中心的都市機能の強化が図られる。	
対応時期		平成31年度	

【1次評価者】	産業建設部 都市整備課 亀山駅前整備グループリーダー 橋場 徹広
【最終評価者】	産業建設部 都市整備課長 草川 保重